



津軽

の誇りを

一瞥あれ！



主催 津軽実業行
委員 津産実



津軽の食と

産業まつり 開催への思い

実行委員長に直撃

10月14日から3日

間、運動公園で津軽の食と産業まつりが開催された。津軽の食と産業まつりとは、弘前市や津軽地域の産業・歴史・文化をよりいっそう振興させることを目的に、「食」と「産業」を紹介するイベントである。

今年は開催20回を記念したスタンプロイヤス・ブラスバンド部のステージ発表など魅力のある多くのイベントが盛りだくさんで、会場は熱狂に包まれた。

当イベントの実行

委員会委員長石田卓也さんは、「3年前の新型コロナウイルス感染症拡大により2年ぶりの開催となったが無事に行うことが出来てほっとしている。去年は計画段階で中止となっていて、またたが、今年は感染対策をどのように行うか会議を進めた後開催することが出来た。来年も同様で、感染拡大防止を徹底し、今年の活動をより良く改善した上で参加店の売り上げに貢献したい」と話す。

編集後記

今年は20周年を記念して、多くのお客さんに喜んでもらえるように豪華景品が当たるスタンプロイヤスと夢くじお楽しみ抽選を実施。友好都市である太田市や斜里町の特産・津軽の取り組みをたくさんの人に知ってほしい。

コロナ明けの開催となった今回、参加した店舗は約84種と例年と比較べ約26種類もの店舗が減少している。1日も早く例年通りの賑わう津軽の食と産業まつりを開催できるように願っている。取材にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。